

# 衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 30.11.21 第 197 回国会第 3 号

11 月 21 日（水）、第 3 回の委員会が開かれました。

## 1 厚生労働関係の基本施策に関する件（障害者雇用について）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）社会福祉法人日本身体障害者団体連合会会長	阿部一彦君
特定非営利活動法人日本障害者協議会代表	藤井克徳君
トヨタグループ株式会社代表取締役社長	
一般社団法人障害者雇用企業支援協会理事	有村秀一君
公益社団法人全国重度障害者雇用事業所協会会長	栗原敏郎君
全国肢体障害者団体連絡協議会会長	
障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会副会長	三橋恒夫君

- ・根本厚生労働大臣、門山法務大臣政務官、鈴木外務大臣政務官、新谷厚生労働大臣政務官、濱村農林水産大臣政務官、阿達国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

（参考人に対する質疑）

### 国光あやの君（自民）

- ・公務部門における障害者雇用に関する基本方針について、阿部参考人からみて更に工夫が必要と思う点を伺いたい。
- ・知的障害者及び精神障害者の個々の特性に合った仕事を迅速に提供する方策について、栗原参考人の見解を伺いたい。

### 西村智奈美君（立憲）

- ・国の行政機関における障害者雇用数の不適切計上の問題に関して、当事者である障害者の意見を聴いて再検証を行う必要性についての各参考人の見解を伺いたい。
- ・公務部門には障害者雇用納付金制度が適用されず、ペナルティーがないことについて、有村参考人及び藤井参考人の見解を伺いたい。

### 白石洋一君（国民）

- ・今回のような問題の再発を防止するための具体的な確保策について、各参考人の見解を伺いたい。
- ・障害種別ごとのバランスの取れた公務部門における試験制度の在り方について、藤井参考人及び三橋参考人の見解を伺いたい。

### 高木美智代君（公明）

- ・今回の問題に関する検証委員会報告書で指摘された障害者雇用に対する意識の低さ等を改善するための方策について、阿部参考人及び藤井参考人の見解を伺いたい。
- ・未だノウハウが十分に蓄積されていない精神障害者及び知的障害者の雇用促進策について、有村参考人及び栗原参考人の見解を伺いたい。

### 高橋千鶴子君（共産）

- ・今回の問題の原因究明と実態把握の必要性について、阿部参考人の見解を伺いたい。
- ・重度障害者と共に働く場合の合理的配慮の在り方について、栗原参考人及び三橋参考人の見解を伺いたい。

### 串田誠一君（維新）

- ・個々の障害者に応じた合理的配慮について、各参考人の思い及び意見を伺いたい。
- ・公務部門で行われる大規模な障害者の採用が民間企業に及ぼす影響とその軽減策について、有村参考人の見解を伺いたい。

（政府に対する質疑）

### 榎屋敬悟君（公明）

- ・今回の問題に関する検証委員会の作業は短期間であったが、十分な検証が行われたのか、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

- ・現行の国家公務員法の規定では、障害者雇用における差別禁止や合理的配慮について穴があいていると言わざるを得ないが、今後どのように対応するのか。
- ・今回の問題を受け、公務部門において特例子会社のような仕組みを創設する等、柔軟な発想で一步先に行く方策を打ち出すべきではないか。

### 田畑裕明君（自民）

- ・今回の問題に関して、過去に何度も気付いて誤りを正す機会があったと思うが、これまで気付くことができなかった理由についての厚生労働省の見解を伺いたい。
- ・本年4月から障害福祉サービスにおいて就労定着支援が創設されているが、その取組状況を伺いたい。
- ・障害者雇用促進法の改正を含めた障害者団体からの意見も踏まえ、今後の障害者雇用の取組について、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

### 阿部知子君（立憲）

- ・今回の問題に関して、当事者である障害者の代表が検証委員会の構成員に入っていない理由を伺いたい。
- ・障害者雇用については、障害者手帳を前提とする「医療モデル」から、通勤時の移動支援等の改善により就労を可能とする「社会モデル」への転換を研究していくべきではないか。
- ・ベトナム人技能実習生を除染作業に従事させていた事案について、ベトナム政府にどのような報告を行ったのか。

### 西村智奈美君（立憲）

- ・今回の問題に関する検証委員会の検証は十分ではなく、各府省の人事担当者へのヒアリングや決裁文書の再チェックを行うべきではないか。
- ・障害者の法定雇用率を満たせない場合には、国の行政機関に対しても納付金制度と同様のペナルティが必要ではないか。
- ・人手不足でも介護職の賃金は十分に上がらない中で、今後5～6万人もの外国人労働者を受け入れると、ますます賃金が上がらなくなるのではないか。

### 初鹿明博君（立憲）

- ・平成29年11月にベトナムで実施されたJ.TEST実用日本語検定で替え玉受験が行われ60名が失格処分となったという事実の存否について伺いたい。
- ・「公務部門における障害者雇用マニュアル」において、障害者に対する人事評価に際しては障害の特性に応じた合理的配慮が行われることが分かる規定にすべきではない

か。

- ・今回の問題に関する検証委員会報告書における外務省の調査結果のうち、精神障害者として計上していた「仕事に來ているけれども仕事になっていない人」の具体的な内容について伺いたい。

### 稲富修二君（国民）

- ・今回の問題についての責任の所在を明らかにし、厳正な対処を行う必要があるのではないか。
- ・国が短期間で4,000人規模の障害者を採用することについては、民間から障害者を奪ってしまうことにもなりかねず、考え直すべきではないか。
- ・低賃金等により失踪者が増加している技能実習生について、労働問題を所管する厚生労働省がしっかりと対処すべきではないのか。

### 岡本充功君（国民）

- ・技能実習生や新たに受け入れる外国人労働者は、障害者の法定雇用率の算定数に含まれるのか。
- ・知的障害者の雇用率が低いままであるが、新たな対策を講ずる必要があるのではないか。
- ・失踪技能実習生に係る聴取票において、最低賃金を下回っている事例が見受けられるが、法務省はしっかりと調査を行い、労働基準監督署へ通報すべきではないか。

### 高橋千鶴子君（共産）

- ・公務部門の障害者採用計画が実施された後の非常勤と常勤の職員数はどうなって、その中で現在の非常勤職員がリストラされないのか、伺いたい。
- ・職員としての採用を望む障害者に採用の機会を広げるとともに定着のための支援も行う必要性について、厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・目的が異なるにもかかわらず技能実習生が特定技能1号に移行できる入管法改正案は、矛盾があるのではないか。

### 串田誠一君（維新）

- ・今回の問題を厚生労働省が見抜くことができなかった理由を伺いたい。
- ・技能実習生の失踪者の実態把握は不十分であると考えますが、厚生労働大臣の見解及び対策を伺いたい。
- ・新たな在留資格による受入れの見込み数から逆算すると、外国人労働者が行う業務に単純労働が含まれ、入管法改正案は移民政策と言えるのではないのか。